

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	体外受精に起因する一絨毛膜二羊膜性双胎の回避法			
2. 対象患者	2007年1月1日～2017年12月31日の間に当院にて体外受精を行い、一卵性双胎を妊娠された方			
3. 対象となる期間	委員会承認日 ～ 2021年 3月 31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部産科婦人科			
5. 研究責任者	氏名	横田 恵	所属	弘前大学医学部産科婦人科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	岡山大学 生殖補助医療技術センター 准教授 大月純子			
7. 研究の意義	研究成果により一卵性双胎を胚の段階で予測できるようになり、体外受精により頻度が高くなる一卵性双胎を減らすことができます。			
8. 研究の目的	体外受精では一つの胚を移植しても一卵性双胎となることがあります。一卵性双胎は流産や出産時のリスクが高いため、胚の状態から一卵性双胎を推測することが重要です。一卵性双胎となった胚の動画から、胎児になる部分の細胞間の接着がゆるむ現象がわかりました。この発見をもとに、更に多くの一卵性双胎となった胚の解析をすることにより、体外受精における一卵性双胎を回避する方法を生み出すことを目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	2007年1月1日～2017年12月31日の間に体外受精において一卵性双胎を妊娠された方の体外受精を行った時点での情報(年齢、卵巣刺激方法、血液検査値、胚画像、受精方法、培養方法、胚の情報(胚の静止画像、動画含む))を研究者が解析し、一卵性双胎を回避する方法を生み出します。			
10. 個人情報の保護	この研究に使用する情報として、カルテから上記の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。			
11. 利益相反に関する状況	本研究の共同研究者の一部には、大塚製薬株式会社からの資金提供により設置される共同研究講座に所属している者が含まれ、利益相反状態にあります。ただし、これは本研究の資金源としてではなく、これにより研究成果が不正に歪められるようなことはありません。本研究は産科婦人科の研究費によって公平・公正に実施されます。なお、本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学教室			
	電話	0172-39-5107	FAX	0172-37-6842